

令和6年

救急統計

(1月～12月)

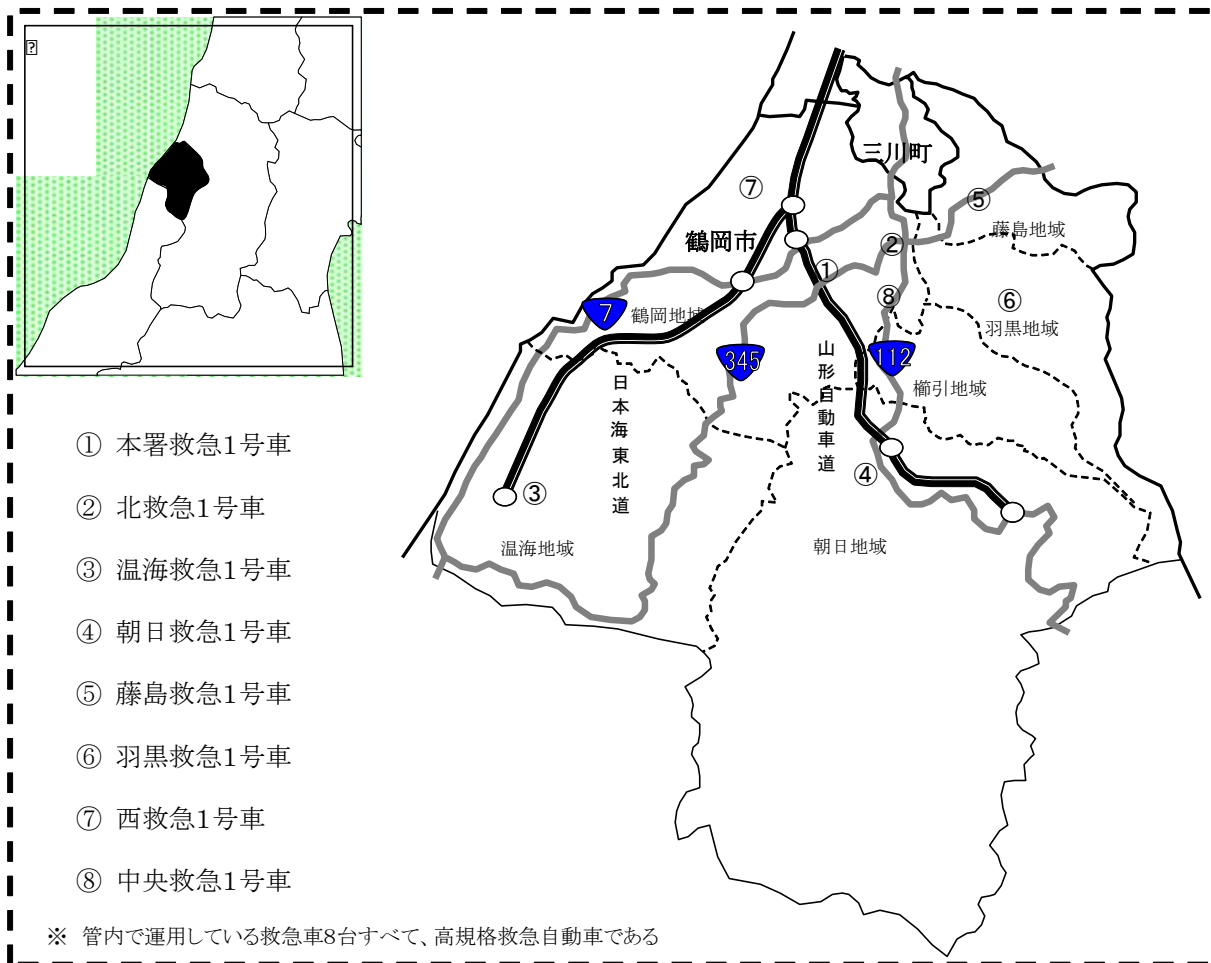


鶴岡市消防本部

目 次

1	管内図及び救急車配置図	1
2	管内人口と医療機関数	1
3	救急の概況	2
4	救急活動状況	4
5	医療機関別搬送人員の状況	6
6	月別出動状況	6
7	曜日別出動状況	7
8	時間帯別出動状況	7
9	傷病程度及び事故種別搬送人員状況	8
10	年齢区分別搬送人員状況	9
11	疾病分類別搬送人員状況	9
12	急病及び一般負傷の発生場所状況	10
13	現場到着所要時間状況（入電～現場まで）	10
14	収容所要時間状況（入電～医療機関等まで）	11
15	住所別搬送人員状況	11
16	月別出動件数と搬送人員状況	12
17	心肺蘇生法の状況	13
18	特定行為及び除細動等の状況	13
19	救急隊員の行った応急処置の状況	14
20	応急手当普及啓発活動の状況	17
21	事故種別出動・搬送人員状況（過去5年間）	18

1 管内図及び救急車配置図



2 管内人口と医療機関数

(令和 6年 3月 31日現在)

市町	区分	人口 (人)	国 公 立		私 的		計 (施設)
			病 院	診 療 所	病 院	診 療 所	
鶴 岡 市	鶴 岡	117,821	3 [1]	4	3 [2]	76	86 [3]
	藤 島	9,175				3	3
	羽 黒	7,289				2	2
	榎 引	6,504			1	4	5
	朝 日	3,380		2			2
	温 海	6,100				3	3
	三 川 町	7,041			1	2	3
合 計		124,862	3 [1]	4	4 [2]	78	89 [3]

[]は、救急告示医療機関

3 救急の概況

高齢化の進展に加え、環境や生活様式の変化等を背景として、救急需要は多様化している。令和5年に新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」に移行されたが、感染症への対応は継続的な課題であり、感染防止対策を講じながら的確に住民ニーズに応えるため、救急隊員の資質向上、通信指令員の口頭指導要領の強化及び救急資器材の計画的な整備を進め、救急業務の高度化推進に努めている。

また、令和2年12月から12誘導心電図伝送システムを導入し、救急隊が現場で心電図を測定し医療機関へ伝送することで、医師が早期に閲覧・治療判断が可能となっている。

応急手当普及啓発活動については、バイスタンダー(その場に居合わせた人)による積極的な応急手当とAED(自動体外式除細動器)の有効活用による救命率向上を図るため、普通救命講習や各種救急講習を実施している。

(1) 救急出動件数と搬送人員

令和6年中の救急出動件数は6,286件で前年と比べ118件(1.8%)減少している。搬送人員は5,419人で前年と比べ305人(5.3%)減少している(第1表)。

また、出動件数は、1日平均17.2件(前年17.5件)出動し、管内住民の23人(前年22人)に1人が救急搬送されたことになる。

(2) 事故種別出動件数

出動件数を事故種別で見ると、「急病」が4,377件で最も多く、全体の69.6%を占めている。次いで「一般負傷」が902件(14.3%)、「転院搬送」が520件(8.3%)、「交通事故」が274件(4.4%)となっている(第1表)。

(3) 年齢区分別搬送人員状況

年齢区分別による搬送人員状況を見ると、高齢者(65歳以上)の搬送が4,138人で最も多く、全搬送人員の76.4%を占めている。次いで成人(18~64歳)が1,011人(18.7%)となっている。(第2表)。

高齢者の事故種別による搬送人員は、4,138人のうち「急病」2,982人、「一般負傷」650人、「転院搬送」391人となっており、いずれの事故種別においても他の年齢層と比べ最も多い状況にある。

また、高齢者福祉施設等からの搬送は、641人(前年689人)となっている。

(4) 現場到着所要時間

入電から現場到着まで要した時間は、5分以上10分未満が3,802件で最も多く、全体の60.5%を占めている。次いで10分以上20分未満が2,008件(31.9%)、3分以上5分未満が276件(4.4%)、20分以上が186件(3.0%)、3分未満が14件(0.2%)の順となっている。また、平均現場到着所要時間は9.1分(前年9.3分)で、令和5年の全国平均現場到着所要時間 10.0分より0.9分短くなっている(第4表)。

(5) 医療機関収容所要時間

入電から医療機関に収容するまで要した時間は、30分以上60分未満が3,630人(67.0%)で最も多く、次いで20分以上30分未満が1,171人(21.6%)となっている。平均医療機関収容所要時間は40.8分(前年40.9分)で、令和5年の全国平均医療機関収容所要時間の45.6分より4.8分短くなっている(第5表)。

(6) 救急処置の状況

ア 救命処置の実施状況

救急救命士の運用を平成8年4月1日から開始し、現在では管内8救急隊(本署、北分署、温海分署、朝日分署、藤島分署、羽黒分署、西分署、中央分署)全てが高規格救急自動車となっている。

救急救命士は本署10人、中央分署、西分署、北分署6人、温海分署、朝日分署、藤島分署、羽黒分署にそれぞれ4人を配置し運用しており、心肺機能停止の傷病者に特定行為である「器具を用いての気道確保」「静脈路確保」及び認定救急救命士による「気管挿管」「薬剤投与」の医療行為を医師の指示に基づいて実施している。また、平成26年度からは、心肺機能停止前の重度傷病者に対して「静脈路確保」及び「低血糖発作症例へのブドウ糖投与」を医師の指示に基づいて実施している。

令和6年中に救急隊が心肺蘇生法を実施しながら搬送した件数は132件(前年153件)で、特定行為を実施した件数(不搬送含む)は気道確保73件、静脈路確保183件(うち心肺機能停止症例90件、心肺機能停止前症例93件)、薬剤投与101件(うちアドレナリン投与72件、ブドウ糖投与29件)となっている。また除細動については10件実施している。

救急隊が心肺蘇生法を行い心拍または呼吸が再開した傷病者は21人で、心拍再開率は16.0%となっている(第9図、第8表)。

イ 応急処置の実施状況

救急隊員が行った応急処置は、搬送したほぼ全ての傷病者に実施しており、処置内容では、血中酸素飽和度測定5,280人(97.4%)、血圧測定5,195人(95.9%)、心電図3,438人(63.4%)などの傷病者観察が多い(第9表)。

(7) 応急手当普及啓発活動の状況

応急手当は、その場に居合わせた人が行うことでより高い効果が期待される。このことから当消防本部では平成7年に制定した「応急手当普及啓発活動実施要綱」(令和2年4月1日改正)に基づき、AED(自動体外式除細動器)の使用方法を含めた普及啓発活動を推進している。

令和6年中の応急手当普及啓発活動については、普通救命講習や各種救急講習を実施しており、実施要綱に基づく救命講習の普通救命講習Ⅰ(3時間)が25回で402人、普通救命講習Ⅲ(3時間)は5回で44人となっている。また、実施要綱に基づく救命講習以外の救急講習は174回で4,705人となっ

ている(第10表)。

4 救急活動状況

第1表 救急活動状況

事故種別	区分	出 動 件 数	搬 送 件 数	搬 送 人 員			傷 病 程 度					覚 知 種 別				
				男	女	計	軽 症	中 等 症	重 症	死 亡	そ の 他 * 2	一 一 九	加 入 電 話	駆 付	そ の 他 * 3	
火 災 事 故	6年	1										1				
	5年	7	6	5	1	6	4	1	1			3			4	
自然災害事故	6年															
	5年															
水 難 事 故	6年	3	1	1		1				1		1	1		1	
	5年	8	3	1	2	3	2		1			6			2	
交 通 事 故	6年	274	191	112	91	203	147	47	9			209	15	1	49	
	5年	230	183	108	100	208	162	35	6	5		157	9	1	63	
労働災害事故	6年	51	49	41	8	49	24	23	2			51				
	5年	69	63	56	7	63	34	24	3	2		66			3	
運動競技事故	6年	20	16	10	6	16	11	5				20				
	5年	27	27	16	11	27	20	6	1			27				
一 般 負 傷	6年	902	776	315	462	777	389	309	68	11		878	4	5	15	
	5年	888	806	330	476	806	437	266	88	15		854	11	5	18	
加 害 事 故	6年	8	4	2	2	4	3	1				6			2	
	5年	8	5	1	4	5	5					6			2	
自 損 行 為	6年	41	21	11	10	21	5	7	5	4		35			6	
	5年	53	35	22	13	35	12	12	4	7		45	2		6	
急 病	6年	4,377	3,829	1,922	1,908	3,830	1,687	1,881	185	77		4,277	36	15	49	
	5年	4,545	4,062	1,990	2,073	4,063	1,856	1,886	209	112		4,462	24	20	39	
そ の 他	転院搬送	6年	520	518	270	248	518	27	441	49	1		440	7		73
		5年	510	507	254	253	507	17	437	52	1		394	3		113
	医師搬送	6年														
		5年														
	資器材搬送	6年														
		5年														
	その他*1	6年	89										76	7	1	5
		5年	59	1	1		1	1					51	5		3
合 計	6年	6,286	5,405	2,684	2,735	5,419	2,293	2,714	318	94		5,994	70	22	200	
	5年	6,404	5,698	2,784	2,940	5,724	2,550	2,667	365	142		6,071	54	26	253	
昨年との比較		△ 118	△ 293	△ 100	△ 205	△ 305	△ 257	47	△ 47	△ 48		△ 77	16	△ 4	△ 53	

(備考) 1 △は負数を表す。以下本統計において、ことわりのない限り同じ。

2 表中のその他(*1 *2 *3 *4)とは、下記のをいう。

*1 正常分娩及び事故原因が断定できないもの等をいう。

*2 医療機関以外に搬送し医師の診断がつかないもの等をいう。

*3 警察専用回線及び病院専用回線等をいう。

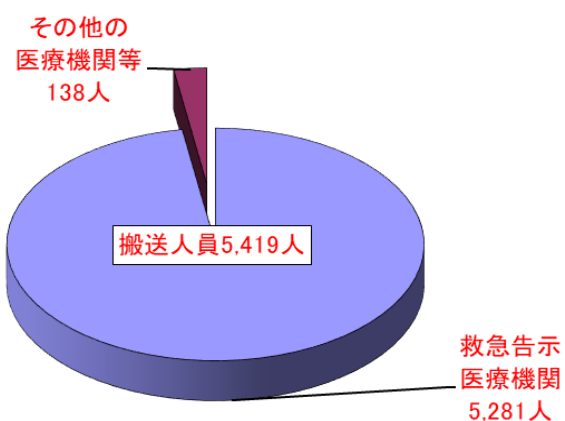
*4 不搬送内訳に分類されないものをいう(症状回復した場合、傷病者が自家用車等で自力受診した場合など)。

不 搬 送 内 訳									市 町 別 出 動 件 数								
辞 退 (到 着 前)	辞 退 (到 着 後)	拒 否	明 ら か な 死 亡	他 車 (隊) (搬 送)	傷 病 者 な し	誤 報 ・ 悪 戯	そ の 他 * 4	計	鶴 岡 市							三 川 町	そ の 他
										鶴 岡	藤 島	羽 黒	櫛 引	朝 日	温 海		
			1					1	1	1							
		1						1	6	6						1	
		1	1					2	3	1					2		
		1	2		2			5	8	2		3			3		
1	35	5		4	21		17	83	249	178	9	13	11	22	16	25	
1	17	3	1	2	10	2	11	47	221	154	23	7	5	22	10	9	
		2						2	48	34	2	3	3	4	2	3	
		2					4	6	59	41	4	7	2	3	2	10	
		4						4	20	14	1	3	2				
									27	14	7	3	2	1			
1	65	9	6	1	3		41	126	848	607	53	48	36	32	72	53	1
2	39	7			2		32	82	831	610	49	45	36	31	60	56	1
1	1			1			1	4	8	6		1			1		
					1		2	3	6	3		1		1	1	2	
			18				2	20	40	31	1	2	3	2	1	1	
			15		1		2	18	52	37	3	3	3	2	4	1	
8	230	37	107	5	7	1	153	548	4,134	2,978	298	245	189	125	299	243	
5	174	39	115	5	8		137	483	4,281	2,973	332	311	196	156	313	263	1
							2	2	501	400	16	4	60		21	19	
		1		1			1	3	487	386	21	5	57		18	23	
1	2	1	1		44	32	8	89	87	57	5	6	9	7	3	2	
1			3		30	19	5	58	55	36	1	6	5	3	4	4	
12	340	52	134	11	75	33	224	881	5,939	4,307	385	325	313	192	417	346	1
9	233	51	136	8	54	21	194	706	6,033	4,262	440	391	306	219	415	369	2
3	107	1	△ 2	3	21	12	30	175	△ 94	45	△ 55	△ 66	7	△ 27	2	△ 23	△ 1

5 医療機関別搬送人員の状況

医療機関等へ搬送された 5,419 人のうち、救急告示医療機関への搬送は 5,281 人で全体の 97.5%を占めている。鶴岡市立荘内病院が 4,042 人(74.6%)で最も多く、管内私的救急告示医療機関である2病院が 394 人(7.3%)、管外の救急告示医療機関が 845 人(15.6%)となっている(第1図)。

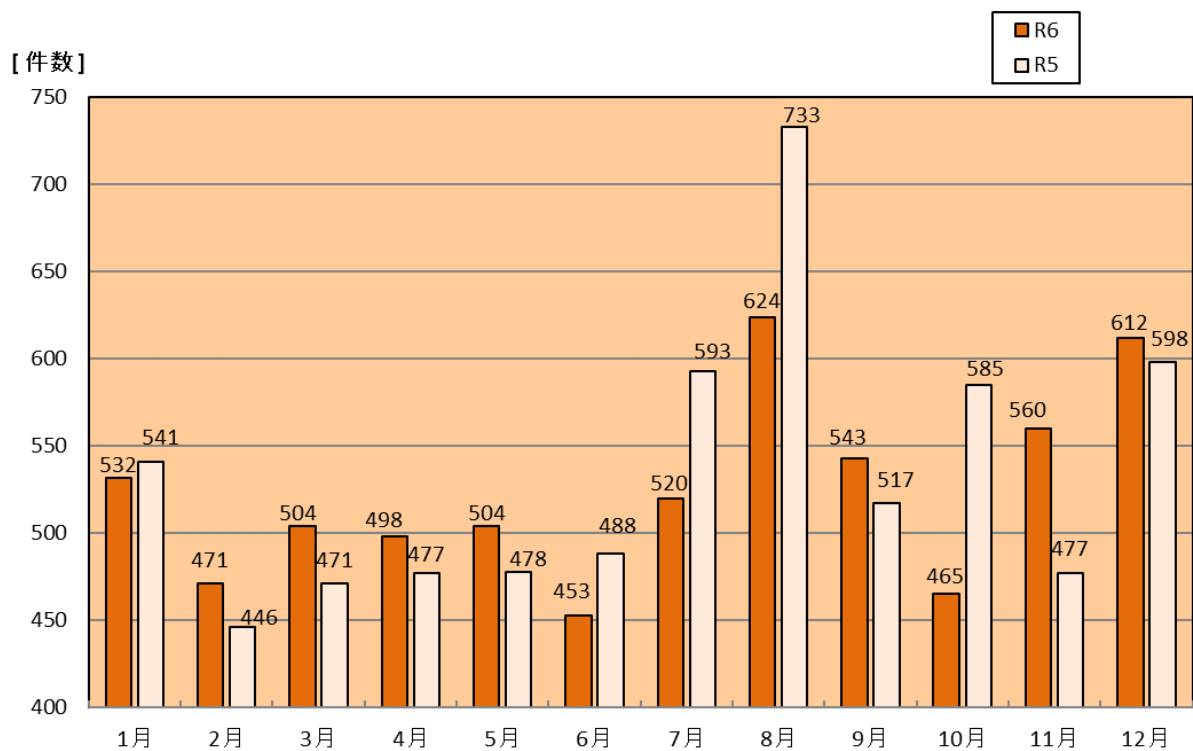
第1図 医療機関別搬送人員の状況



6 月別出動状況

月別出動状況は、8月が 624 件と最も多く、次いで 12月が 612 件、11月が 560 件となっている(第2図)。

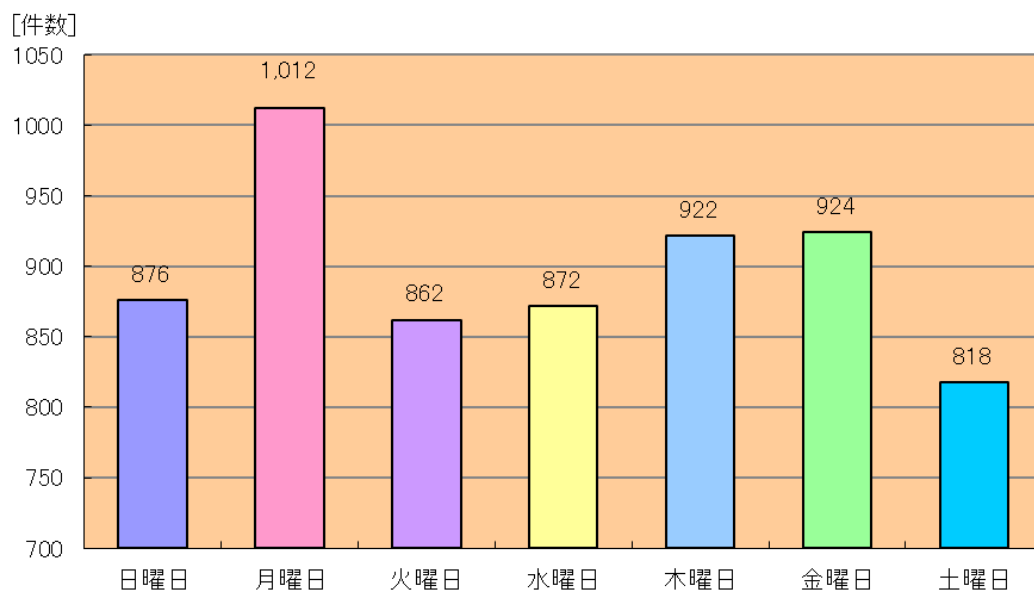
第2図 月別出動状況



7 曜日別出動状況

曜日別出動状況は、月曜日が1,012件で最も多く、次いで金曜日が924件、木曜日が922件となっている(第3図)。

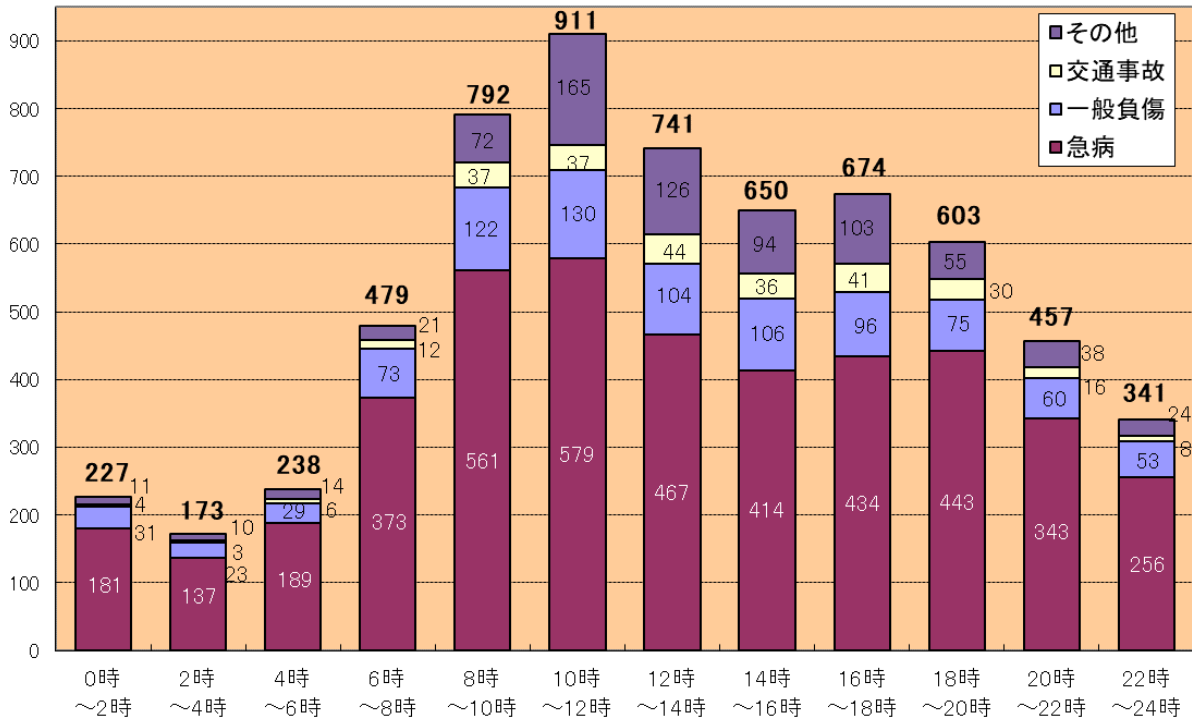
第3図 曜日別出動状況



8 時間帯別出動状況

時間帯別出動状況は、10時から12時までが911件(14.5%)と最も多く、2時から4時までが173件(2.8%)と最も少ない(第4図)。

第4図 時間帯別出動状況



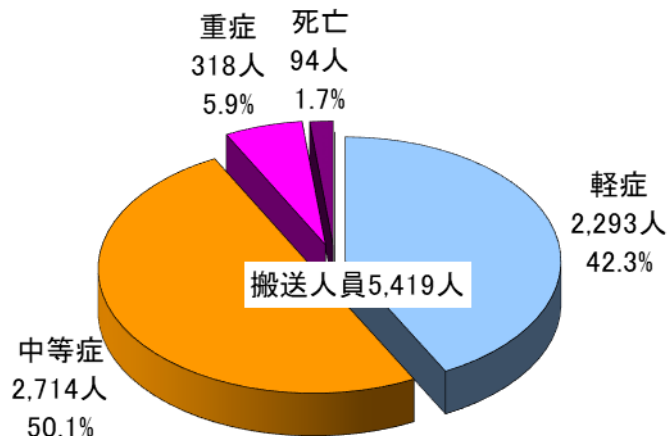
9 傷病程度及び事故種別搬送人員状況

傷病程度別搬送人員の状況は、中等症が2,714人と最も多く次いで軽症、重症、死亡の順となっている(第5図)。

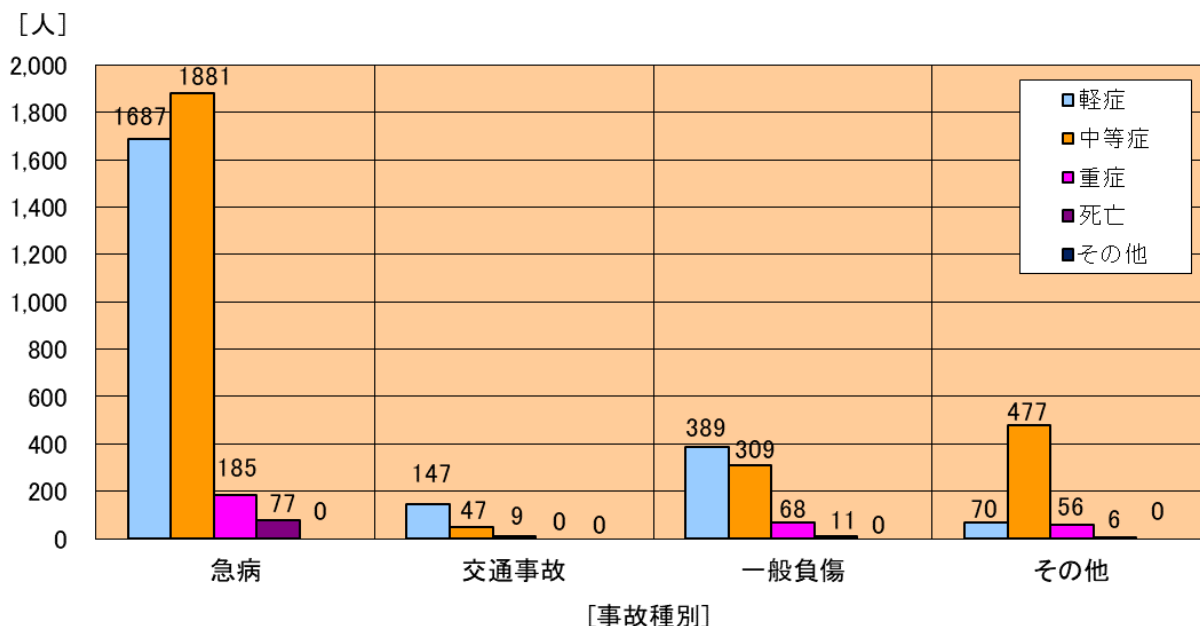
事故種別傷病程度別搬送人員の状況は、急病の中等症が1,881人(34.7%)で最も多く、次いで急病の軽症が1,687人(31.1%)、その他の中等症が477人(8.8%)となっている。

また、搬送された傷病者のうち入院を必要とする中等症・重症の割合は、急病 2,066人(38.1%) その他 533人(9.8%)、一般負傷 377人(7.0%)で、全体では3,032人(56.0%)となっている(第6図)。

第5図 傷病程度別搬送人員状況



第6図 事故種別搬送人員状況



(備考) 事故種別の「その他」とは、急病・交通事故・一般負傷を除く事故種別のものをいう。

10 年齢区分別搬送人員状況

年齢区分別では、高齢者(65歳以上)が4,138人(76.4%)で最も多く、次いで成人(18~64歳)が1,011人(18.7%)となっている。また、傷病程度別では中等症、軽症、重症の順となっている(第2表)。

第2表 年齢区分別搬送人員状況

年齢区分 傷病程度	新生児		乳幼児		少年		成人		高齢者		計(人)	
	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)
死亡	0	-	0	-	0	-	13	1.3	81	2.0	94	1.7
重症	0	-	2	1.6	1	0.7	49	4.8	266	6.4	318	5.9
中等症	4	100.0	84	68.9	49	34.0	381	37.7	2,196	53.1	2,714	50.1
軽症	0	-	36	29.5	94	65.3	568	56.2	1,595	38.5	2,293	42.3
その他	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
合計	4	100	122	100	144	100	1,011	100	4,138	100	5,419	100
構成比 (%)	0.0		2.3		2.7		18.7		76.4		100	

(備考) 合計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合がある。以下ことわりのない限り同じ。

11 疾病分類別搬送人員状況

急病による搬送人員は、3,830人で前年より233人減少している。疾病分類別では循環器系が452人(11.8%)となっている。そのうち傷病程度は中等症が351人(77.7%)、重症が62人(13.7%)となっている(第3表)。

第3表 疾病分類別搬送人員状況

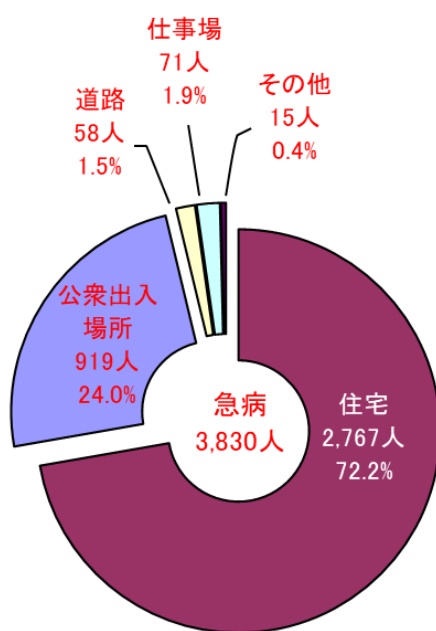
傷病程度	疾病分類	循環器系				消化系		呼吸系		精神系		感覚系	
		脳疾患		心疾患等									
		構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)		
死亡	1	0.4	1	0.5		-	1	0.6		-		-	
重症	34	13.9	28	13.5	7	3.8	11	7.0		-		-	
中等症	199	81.2	152	73.4	113	62.1	129	81.6	4	16.0	22	28.6	
軽症	11	4.5	26	12.6	62	34.1	17	10.8	21	84.0	55	71.4	
合計	245	100	207	100	182	100	158	100	25	100	77	100	
構成比 (%)		6.4		5.4		4.8		4.1		0.7		2.0	

傷病程度	疾病分類	泌尿系		新生物		その他		症状・徴候・診断名不明確の状況		計(人)	
		構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)		構成比 (%)		
		死亡		-	1	3.3		-	73	2.8	77
重症	2	3.3	4	13.3	13	6.4	86	3.3	185	4.8	
中等症	30	50.0	22	73.3	106	52.2	1,104	41.8	1,881	49.1	
軽症	28	46.7	3	10.0	84	41.4	1,380	52.2	1,687	44.0	
合計	60	100	30	100	203	100	2,643	100	3,830	100	
構成比 (%)		1.6		0.8		5.3		69.0		100	

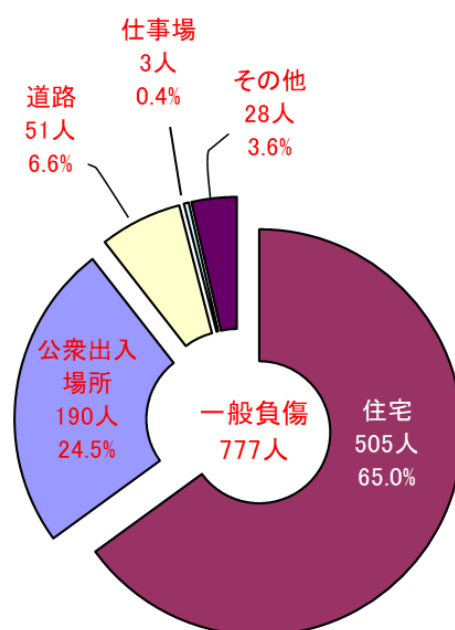
12 急病及び一般負傷の発生場所状況

急病及び一般負傷における発生場所別搬送人員の割合をみると、どちらも住宅での発生が多く特に急病は2,767人(72.2%)となっている(第7図、第8図)。

第7図 急病の発生場所状況



第8図 一般負傷の発生場所状況



13 現場到着所要時間状況(入電～現場まで)

入電から現場到着までに要した時間は平均で 9.1 分となっている。また、5分から 10 分未満に現場到着した件数は、3,802 件(60.5%)と最も多くなっている(第4表)。

第4表 現場到着所要時間状況(入電～現場まで)

時間 隊名	3分未満	3～5分	5～10分	10～20分	20分以上	計(件)	平均(分)
本署救急隊	2	47	737	463	62	1,311	10.0
北救急隊	2	39	795	413	3	1,252	8.5
温海救急隊	2	8	155	183	58	406	12.2
朝日救急隊	2	20	146	134	21	323	10.5
藤島救急隊		38	221	158	2	419	8.7
羽黒救急隊	3	17	168	169	15	372	10.4
西救急隊	2	10	254	215	14	495	9.8
中央救急隊	1	97	1,326	273	11	1,708	7.5
合計	14	276	3,802	2,008	186	6,286	9.1 (5年 9.3)
構成比(%)	0.2	4.4	60.5	31.9	3.0	100	-

14 収容所要時間状況(入電～医療機関等まで)

出動件数 6,286 件のうち医療機関等に収容された人員は 5,419 人となっている。医療機関等に収容されるまでの所要時間では 30 分から 60 分未満が 3,630 人(67.0%)で最も多くなっている。なお、医療機関等までの平均収容所要時間は 40.8 分となっている(第5表)。

第5表 収容所要時間状況(入電～医療機関等まで)

隊名	時間						計 (人)	平均 (分)
	10分 未満	10分 ～20分	20分 ～30分	30分 ～60分	60分 ～120分	120分 以上		
本 署 救 急 隊		11	294	720	110	5	1,140	40.2
北 救 急 隊		13	298	677	57		1,045	37.0
温 海 救 急 隊			2	178	173	1	354	61.3
朝 日 救 急 隊			8	229	49	3	289	48.9
藤 島 救 急 隊			21	342	15		378	41.1
羽 黒 救 急 隊			19	265	33	3	320	47.3
西 救 急 隊			6	396	34		436	44.5
中 央 救 急 隊		40	523	823	70	1	1,457	34.9
合 計		64	1,171	3,630	541	13	5,419	40.8 (5年 40.9)
構成比 (%)	-	1.2	21.6	67.0	10.0	0.2	100	-

15 住所別搬送人員状況

搬送人員 5,419 人のうち、管内に住所を有する者は 5,166 人(95.3%)、管外に住所を有する者は 246 人(4.5%)、その他7人(0.1%)となっている。前年と比較して、管内住所者については 276 人の減少、管外住所者については 30 人の減少となっている(第6表)。

第6表 住所別搬送人員状況

種別 区分	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 災 事 故	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
												(人)
管内住所者			1	170	42	10	730	4	19	3,694	496	5,166
管外住所者				32	7	6	46		2	131	22	246
その他				1			1			5		7
合 計			1	203	49	16	777	4	21	3,830	518	5,419

(備考)表中区分「その他」とは、外国人旅行者など国内に住所を置いていないものをいう。

16 月別出動件数と搬送人員状況

第7表 月別出動件数と搬送人員状況

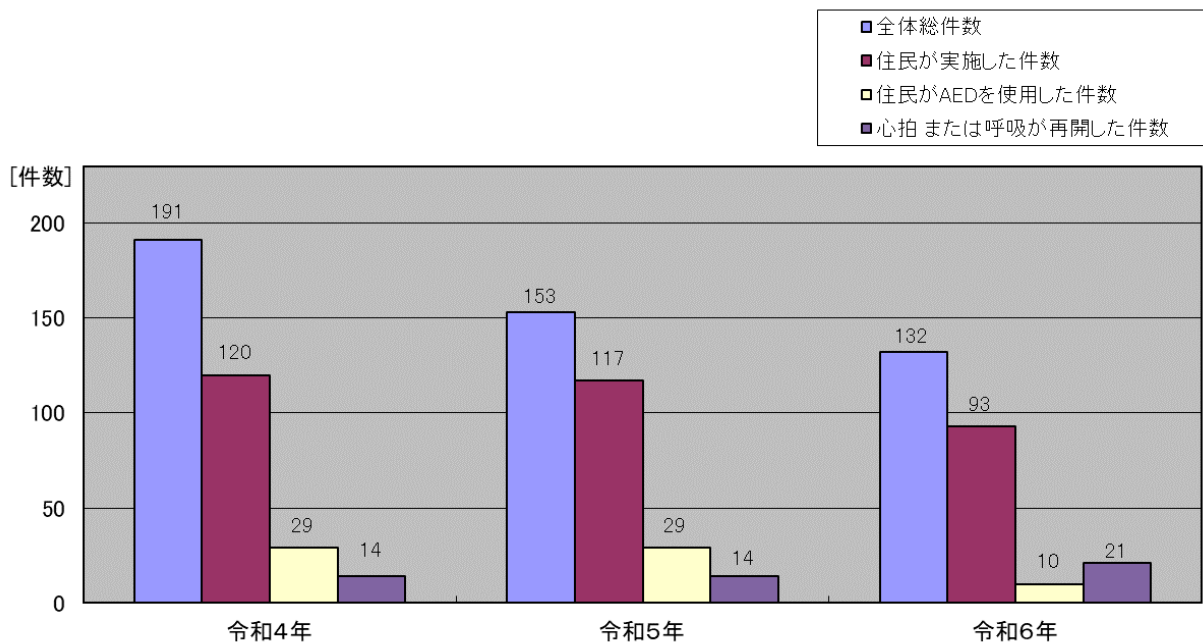
月	種別	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	計
		災	然	難	通	災	動	般	害	損	病	の	
1月	出動件数(件)				17	5	1	68	2	3	384	52	532
	搬送人員(人)				10	4	1	62	2		339	44	462
2月	出動件数(件)				11	2	1	71	1	6	333	46	471
	搬送人員(人)				8	1	1	58		2	292	42	404
3月	出動件数(件)	1		1	22	3	4	74		3	354	42	504
	搬送人員(人)				15	3	3	57		1	312	35	426
4月	出動件数(件)				19	4	1	76	2	2	343	51	498
	搬送人員(人)				17	4	1	67	1	1	284	44	419
5月	出動件数(件)			1	24	5	3	67		3	350	51	504
	搬送人員(人)				17	5	3	58			299	48	430
6月	出動件数(件)				23	3		68		2	309	48	453
	搬送人員(人)				20	3		57		1	272	41	394
7月	出動件数(件)				19	5	3	70	1	3	373	46	520
	搬送人員(人)				18	5	3	60	1	3	340	39	469
8月	出動件数(件)			1	18	8		72	1	6	465	53	624
	搬送人員(人)			1	10	8		62		2	422	40	545
9月	出動件数(件)				25	6	1	73		4	381	53	543
	搬送人員(人)				19	6	1	65		4	334	40	469
10月	出動件数(件)				28	3	1	81		4	294	54	465
	搬送人員(人)				19	3	1	75		4	256	50	408
11月	出動件数(件)				22	2	5	92		4	385	50	560
	搬送人員(人)				16	2	2	82		3	329	45	479
12月	出動件数(件)				46	5		90	1	1	406	63	612
	搬送人員(人)				34	5		74			351	50	514
合計	出動件数(件)	1		3	274	51	20	902	8	41	4,377	609	6,286
	搬送人員(人)			1	203	49	16	777	4	21	3,830	518	5,419

17 心肺蘇生法の状況

救急隊が心肺蘇生法を実施しながら搬送した件数は132件で、そのうち心拍または呼吸が再開した件数は21件となっている(第9図)。

また、救急隊が現場に到着するまでに住民等により心肺蘇生法、または人工呼吸および胸骨圧迫のいずれかが実施された件数は93件で、この内AEDを使用した件数は10件となっている(第9図)。

第9図 心肺蘇生法の状況



18 特定行為及び除細動等の状況

第8表 特定行為及び除細動等の状況

処置	市町	鶴岡市						三川町	計(件)		
		鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海				
心肺蘇生件数		125	91	10	6	3	3	12	7	132	
特定行為	心肺機能停止	気道確保	69	49	5	4	1	2	8	4	73
		静脈路確保	83	65	5	3	1	2	7	7	90
		薬剤投与	67	52	5	2	1	2	5	5	72
	心肺機能停止前	静脈路確保	85	64	8	5	3	2	3	8	93
		ブドウ糖投与	28	18	6	1	2	1		1	29
		エピペン投与									
合計(件)		332	248	29	15	8	9	23	25	357	
血糖測定		486	372	27	16	22	13	36	41	527	
除細動		9	5	1				3	1	10	

19 救急隊員の行った応急処置の状況

第9表 救急隊員の行った応急処置の状況

事故種別	傷病程度	応急処置 対象人員 (人)	止血	被覆	固定	保温	酸素 吸入	人工 呼吸	胸骨圧迫		心肺蘇生	
										自動		自動
急病	死亡	77				2	46	2			76	20
	重症	185		3		27	118	13			31	3
	中等症	1,881	4	6	10	223	665	6				
	軽症	1,687	13	12	6	148	109	1				
	その他											
	計	3,830	17	21	16	400	938	22			107	23
交通事故	死亡											
	重症	9	1		5		6	1			2	
	中等症	47	4	9	18	5	10	1				
	軽症	147	7	18	28	6						
	その他											
	計	203	12	27	51	11	16	2			2	
一般負傷	死亡	11				1	10	1			11	3
	重症	68	2	3	15	6	10	1			2	
	中等症	309	22	23	49	29	13					
	軽症	389	69	95	23	33	4					
	その他											
	計	777	93	121	87	69	37	2			13	3
上記以外	死亡	6	1		1		5				6	
	重症	56	1	1	6	7	23	2			4	
	中等症	477	8	7	15	31	169					
	軽症	70	4	3	6	6						
	その他											
	計	609	14	11	28	44	197	2			10	
合計	死亡	94	1		1	3	61	3			93	23
	重症	318	4	7	26	40	157	17			39	3
	中等症	2,714	38	45	92	288	857	7				
	軽症	2,293	93	128	63	193	113	1				
	その他											
	計	5,419	136	180	182	524	1,188	28			132	26

(備考) 1 1人につき複数の応急処置を行うこともあるため、応急処置対象搬送人員と事故種別ごとの応急処置等の計の数とは一致しない。

事故種別	応急処置 傷病程度	在宅療法継続			ショック パンツ	血圧 測定	心音 呼吸音 の聴取	血中 酸素 飽和度 測定	心電図	12誘導 心電図 伝送	気道確保				
		* A	* B	* C							* 1	* 2	* 3	* 4	
	急病	死亡	1		1		6	9	4	58		76	1	2	40
重症		1	1			163	70	164	175	24	60			18	
中等症		19	1	4	14	1,820	782	1,877	1,448	178	34		1		
軽症		3			3	1,668	411	1,681	1,101	104	2				
その他															
計		24	2	4	18		3,657	1,272	3,726	2,782	306	172	1	3	58
交通事故	死亡														
	重症					8	3	8	5		2			1	
	中等症					47	23	47	27						
	軽症					142	47	144	41						
	その他														
	計					197	73	199	73		2			1	
一般負傷	死亡					2	3	2	10		11		2	5	2
	重症					67	7	67	27		4		1	2	
	中等症					306	45	309	92	1	2				
	軽症					382	62	385	114	1	2		1		
	その他														
	計					757	117	763	243	2	19		4	7	2
上記以外	死亡					2	1	1	6		6			1	
	重症					52	10	53	31	3	5			1	
	中等症	6	4	2		460	134	468	272	24	4				
	軽症					70	9	70	31	2					
	その他														
	計	6	4	2		584	154	592	340	29	15				2
合計	死亡	1		1		10	13	7	74		93	1	4	46	4
	重症	1	1			290	90	292	238	27	71		1	22	
	中等症	25	5	6	14	2,633	984	2,701	1,839	203	40		1		
	軽症	3			3	2,262	529	2,280	1,287	107	4		1		
	その他														
	計	30	6	6	18		5,195	1,616	5,280	3,438	337	208	1	7	68

2 在宅療法継続(いずれも内数)

* A 在宅中心静脈栄養管理による点滴

* B 気管切開・人工肛門等

* C A・B以外の応急処置

3 気道確保(いずれも内数)

* 1 経鼻エアウェイを使用時の気道確保

* 2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去

* 3 救急救命士がラリゲアルマスク等を使用した気道確保

* 4 救急救命士が行った気管挿管処置

事故種別	応急処置	除細動	静脈路確保		薬剤投与	血糖測定	ブドウ糖投与	エピペン投与	その他の処置	計 (件)
	傷病程度		心肺機能停止前	心肺機能停止後						
急病	死亡	5	50		50	38	1		5	379
	重症	4	65	44	21	17	54	3	12	979
	中等症		31	30	1		298	15	72	7,310
	軽症		5	5			142	11	64	5,377
	その他									
	計	9	151	79	72	55	495	29	153	14,045
交通事故	死亡									
	重症	1	2	1	1	1			1	46
	中等症		1	1			2		3	197
	軽症						1		2	436
	その他									
	計	1	3	2	1	1	3		6	679
一般負傷	死亡		8		8	7			3	69
	重症		9	6	3	2	2		1	225
	中等症		2	2			8		9	909
	軽症						8		14	1,191
	その他									
	計		19	8	11	9	18		27	2,394
上記以外	死亡		3		3	4				36
	重症		4	2	2	2	1		4	206
	中等症		1	1			10		17	1,602
	軽症		1	1					4	204
	その他									
	計		9	4	5	6	11		25	2,048
合計	死亡	5	61		61	49	1		8	484
	重症	5	80	53	27	22	57	3	18	1,456
	中等症		35	34	1		318	15	101	10,018
	軽症		6	6			151	11	84	7,208
	その他									
	計	10	182	93	89	71	527	29	211	19,166

20 応急手当普及啓発活動の状況

第10表 応急手当普及啓発活動の状況

種別 月	実施要綱に基づく救命講習									救命講習以外					計	
	普通救命講習Ⅰ	普通救命講習Ⅱ	普通救命講習Ⅲ	上級救命講習	応急手当普及員	普及員再講習	応急手当指導員	指導員再講習	入門コース	自治会	PTA等	学校保育園等	事業所	婦人会		各種団体
1月	回数	2		1							3	6	1			13
	人数	30		4							62	125	15			236
2月	回数	3									2	2		2		9
	人数	45									106	50		46		247
3月	回数											5				5
	人数											63				63
4月	回数	1							1		1	2				5
	人数	29							10		34	89				162
5月	回数	2								1	6	4				13
	人数	36								20	273	75				404
6月	回数	1		1						2	15	10				29
	人数	12		15						87	356	162				632
7月	回数				1					6	9	5				21
	人数				8					102	188	104				402
8月	回数	3									4	3		1		11
	人数	36									79	33		24		172
9月	回数	2		1					1	8	3	8				23
	人数	37		10					14	325	88	230				704
10月	回数	5		1		1				16	1	12		1		37
	人数	61		6		25				608	6	260		16		982
11月	回数	5					3			8	4	13		3		36
	人数	95					38			200	309	374		68		1,084
12月	回数	1		1						1	2	4				9
	人数	21		9						50	36	42				158
合計	回数	25		5	1	1	3		2	42	50	74	1	7		211
	人数	402		44	8	25	38		24	1392	1537	1607	15	154		5,246

21 事故種別出動・搬送人員状況(過去5年間)

第 11 表 事故種別出動・搬送人員状況(過去5年間)

種別		年				
		火災	自然	水難	交通	労災
令和2年	出動件数(件)	4		7	252	44
	構成比(%)	0.1	-	0.1	4.8	0.8
	対前年増減比(%)	0.0	-	△ 46.2	△ 29.4	29.4
	搬送人員(人)	6		2	226	41
令和3年	出動件数(件)	5		7	240	62
	構成比(%)	0.1	-	0.1	4.2	1.1
	対前年増減比(%)	25.0	-	0.0	△ 4.8	40.9
	搬送人員(人)	1		1	214	60
令和4年	出動件数(件)	10	3	4	227	62
	構成比(%)	0.2	0.0	0.1	3.8	1.0
	対前年増減比(%)	100.0	皆増	△ 42.9	△ 5.4	0.0
	搬送人員(人)	8	2	0	184	62
令和5年	出動件数(件)	7		8	230	69
	構成比(%)	0.1	-	0.1	3.6	1.1
	対前年増減比(%)	△ 30.0	皆減	100.0	1.3	11.3
	搬送人員(人)	6		3	208	63
令和6年	出動件数(件)	1		3	274	51
	構成比(%)	0.0	-	0.0	4.4	0.8
	対前年増減比(%)	△ 85.7	-	△ 62.5	19.1	△ 26.1
	搬送人員(人)			1	203	49

運 動	一 般	加 害	自 損	急 病	そ の 他	計
14	725	5	46	3,666	529	5,292
0.3	13.7	0.1	0.9	69.3	10.0	100
△ 46.2	△ 9.8	△ 44.4	27.8	△ 10.7	2.5	△ 10.4
14	686	5	26	3,402	476	4,884
12	818	8	37	3,960	510	5,659
0.2	14.5	0.1	0.7	70.0	9.0	100
△ 14.3	12.8	60.0	△ 19.6	8.0	△ 3.6	6.9
12	760	5	22	3,584	444	5,103
18	864	7	41	4,288	500	6,024
0.3	14.3	0.1	0.7	71.2	8.3	100
50.0	5.6	△ 12.5	10.8	8.3	△ 2.0	6.4
16	771	3	20	3,840	461	5,367
27	888	8	53	4,545	569	6,404
0.4	13.9	0.1	0.8	71.0	8.9	100
50.0	2.8	14.3	29.3	6.0	13.8	6.3
27	806	5	35	4,063	508	5,724
20	902	8	41	4,377	609	6,286
0.3	14.3	0.1	0.7	69.6	9.7	100
△ 25.9	1.6	0.0	△ 22.6	△ 3.7	7.0	△ 1.8
16	777	4	21	3,830	518	5,419